



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年1月31日
上場取引所 東

上場会社名 NSユニテッド海運株式会社
 コード番号 9110 URL <http://www.nsuship.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 谷水 一雄
 問合せ先責任者 (役職名) 経理グループリーダー (氏名) 小林 勝利 TEL 03-6895-6251
 四半期報告書提出予定日 2020年2月12日
 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満四捨五入)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	109,978	△5.0	5,825	△19.4	4,724	△26.3	5,791	△17.3
2019年3月期第3四半期	115,824	11.6	7,229	10.0	6,407	17.0	7,006	11.4

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 4,720百万円 (△46.2%) 2019年3月期第3四半期 8,770百万円 (17.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	245.75	-
2019年3月期第3四半期	297.28	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	245,606	91,165	37.1
2019年3月期	223,528	89,038	39.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 91,165百万円 2019年3月期 89,038百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	-	50.00	-	65.00	115.00
2020年3月期	-	45.00	-	-	-
2020年3月期(予想)	-	-	-	50.00	95.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	151,000	△0.0	8,100	△9.1	6,400	△17.8	7,800	△16.5	330.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、 除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	23,970,679株	2019年3月期	23,970,679株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	403,989株	2019年3月期	403,730株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	23,566,838株	2019年3月期3Q	23,567,136株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。なお、本日付で「配当予想の修正に関するお知らせ」を別途開示しておりますので併せてご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料は、2020年1月31日（金）に当社ウェブサイトに掲載致します。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年12月31日までの9ヶ月間）の外航海運事業は、当累計期間を通じて新造船供給圧力が続くなか、期首に大底を打ち回復基調にあったドライバルク市況は大型船を中心に前年同期比以上の水準で推移しました。ケープサイズ型撒積船（18万重量トン型）につきましては、中国の年間鉄鉱石輸入量が4年連続で10億トンを突破し景気刺激策による旺盛な輸送需要がうかがわれましたが、12月には用船活動も落ち着き、平均用船料率は日額約1万5千ドルと2018年末と同水準で当第3四半期を終えました。また、パナマックス型以下の中小型撒積船（2～8万重量トン型）は、東南アジアや豪州積みの輸送需要が市況を下支えしましたが、当第3四半期末にかけて、保有する高硫黄燃料をSOx排出規制強化前に消化すべく市況水準以下での成約もみられ、大型船市況同様に下落しました。一方、VLGC（大型LPG運搬船）につきましては、冬場の需要期を迎えたことに加え、米国からの旺盛な出荷需要等が市況を牽引したため、夏場以降続いた高い水準を維持しました。このような状況下、継続的な事業基盤の強化に加え安全運航を通じた収益向上に努めましたが、大型船を中心に実施したスクラバー搭載工事による運航船の稼働率低下や、適合燃料油の手配及び使用開始等のSOx排出規制対応等により、外航海運事業の業績は前年同期比で減収減益となりました。

内航海運事業は、ドライバルクにつきましては、電力関連貨物の輸送量は前年同期並みでしたが、製造業や建設業向け需要の落ち込みの影響により、石灰石、副原料及び鋼材などの鉄鋼関連貨物や、セメント関連貨物の輸送量は減少しました。一方、タンカーにつきましては、LNG輸送は、省エネ化の進展により需要が減少するなか効率的な運航に努め、輸送量は前年同期を上回りました。LPG輸送は、石油化学品輸送が好調な国内需要を受け、民生用は冬期需要期を迎えましたが、一部輸送契約の終了及び工業用の内需低迷の影響を受けたことにより、全体的な輸送量は前年同期を下回りました。このような状況下、内航海運事業の業績は前年同期比で減収減益となりました。

燃料油価格は、当第3四半期連結累計期間の平均消費価格はトン当たり約432ドル（内外地平均C重油）となり、前年同期比では約15ドル下落しました。また、対米ドル円相場は期中平均で109円22銭と、期初の見込み110円と比較して78銭の円高となり、前年同期比では1円34銭の円高となりました。

このような事業環境下、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は1,099億78百万円（前年同期比5.0%減）、営業利益は58億25百万円（前年同期は72億29百万円の営業利益）、経常利益は47億24百万円（前年同期は64億7百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は57億91百万円（前年同期は70億6百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

なお、当社グループの事業構成は海上輸送業がほぼ全体を占めており、連結売上高に占める外航海運事業の割合は8割強、内航海運事業の割合は2割弱となっております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は2,456億6百万円となり、前連結会計年度末比220億78百万円の増加となりました。このうち流動資産は現金及び預金や有価証券の減少等により29億90百万円減少しました。固定資産は主として船舶の増加により250億68百万円増加しました。

負債合計は前連結会計年度末に比べ、199億51百万円増加の1,544億41百万円となりました。このうち流動負債は主として短期借入金の増加により156億29百万円増加しました。固定負債は主として長期借入金の増加により43億22百万円増加しました。

純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上と配当金支払の差引による利益剰余金の増加、繰延ヘッジ損益の減少によるその他の包括利益累計額の減少等により、前連結会計年度末に比べ21億27百万円増加し911億65百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期連結業績予想

(単位：百万円)

	通期			
	前回予想	今回予想	前回予想比	
			増減額	増減率
売上高	151,000	151,000	0	-
営業利益	8,100	8,100	0	-
経常利益	6,400	6,400	0	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	7,800	7,800	0	-

※前回予想（2019年10月31日）及び今回予想における第4四半期平均の対米ドル円換算率及び燃料油価格の前提は以下の通りです。

第4四半期前提	前回予想	今回予想
対米ドル円換算率	US\$=108円	US\$=109円
燃料油価格	US\$435/MT	US\$400/MT

第4四半期以降の事業環境の見通しについては、引き続きスクラバー搭載工事のための入渠や減速航海の深度化による船腹需給の引き締めが期待される一方、米中の貿易摩擦や英国のEU離脱問題、緊張の続く中東を含めた世界情勢、およびドル円為替相場・適合燃料油を含めた燃料油価格市況など、先行きの不透明感は拭えません。

このような見通しの下、第3四半期連結累計期間の業績、および第4四半期以降の当社を取り巻く事業環境を踏まえ、2020年3月期通期の連結業績予想を2019年10月31日付けで公表した前回予想値のまま据え置いています。第4四半期以降の前提条件は、第4四半期平均の対米ドル円換算率および期末日における対米ドル円換算率を109円とし、燃料油価格はトン当たり400ドル（前回比35ドル安）、適合燃料油価格はトン当たり670ドル（前回比10ドル安）としています。

なお、当社は株主への利益還元を経営上重要な施策の一つとして位置づけ、年間配当性向を「連結業績ベースの概ね30%」とする方針を採っております。2020年3月期の期末配当につきましては、1株当たり50円00銭、通期で95円00銭と予想しております。

本日「配当予想の修正に関するお知らせ」を別途開示しておりますので併せてご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,308	20,513
受取手形及び営業未収金	15,674	18,909
有価証券	4,500	—
たな卸資産	7,143	8,036
前払費用	2,851	3,406
デリバティブ債権	3,658	1,873
その他流動資産	1,147	1,554
貸倒引当金	△20	△21
流動資産合計	57,261	54,271
固定資産		
有形固定資産		
船舶（純額）	136,112	162,510
建物（純額）	445	428
土地	703	703
建設仮勘定	16,515	16,366
その他有形固定資産（純額）	75	66
有形固定資産合計	153,849	180,073
無形固定資産	2,594	2,563
投資その他の資産		
投資有価証券	3,908	3,426
長期貸付金	31	28
繰延税金資産	3,816	3,123
退職給付に係る資産	1,501	1,565
その他長期資産	569	556
貸倒引当金	△2	—
投資その他の資産合計	9,823	8,699
固定資産合計	166,267	191,335
資産合計	223,528	245,606

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	6,764	7,522
短期借入金	16,464	31,715
未払金	138	1,364
未払費用	295	317
未払法人税等	601	101
前受金	1,578	1,353
賞与引当金	439	98
役員賞与引当金	69	15
デリバティブ債務	3,672	2,970
その他流動負債	2,120	2,313
流動負債合計	32,140	47,769
固定負債		
長期借入金	97,337	101,490
繰延税金負債	1,823	1,844
特別修繕引当金	3,047	3,181
退職給付に係る負債	140	154
その他固定負債	3	2
固定負債合計	102,350	106,672
負債合計	134,490	154,441
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,300	10,300
資本剰余金	17,181	17,181
利益剰余金	62,394	65,593
自己株式	△994	△995
株主資本合計	88,881	92,079
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△17	△295
繰延ヘッジ損益	△9	△806
為替換算調整勘定	△124	△72
退職給付に係る調整累計額	307	258
その他の包括利益累計額合計	157	△915
純資産合計	89,038	91,165
負債純資産合計	223,528	245,606

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高		
海運業収益及びその他の営業収益	115,824	109,978
売上原価		
海運業費用及びその他の営業費用	104,363	99,852
売上総利益	11,461	10,126
一般管理費	4,233	4,301
営業利益	7,229	5,825
営業外収益		
受取利息	55	60
受取配当金	116	130
持分法による投資利益	—	32
為替差益	180	—
デリバティブ利益	89	71
その他営業外収益	51	41
営業外収益合計	491	334
営業外費用		
支払利息	1,263	1,088
持分法による投資損失	5	—
為替差損	—	136
その他営業外費用	44	211
営業外費用合計	1,312	1,435
経常利益	6,407	4,724
特別利益		
固定資産売却益	2,302	2,791
投資有価証券売却益	—	7
特別利益合計	2,302	2,799
特別損失		
用船解約金	495	50
子会社株式売却損	41	—
為替換算調整勘定取崩額	—	79
特別損失合計	536	129
税金等調整前四半期純利益	8,173	7,394
法人税等	1,167	1,602
四半期純利益	7,006	5,791
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,006	5,791

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	7,006	5,791
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△488	△278
繰延ヘッジ損益	2,346	△796
為替換算調整勘定	△46	74
退職給付に係る調整額	△40	△50
持分法適用会社に対する持分相当額	△8	△22
その他の包括利益合計	1,764	△1,072
四半期包括利益	8,770	4,720
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,769	4,720
非支配株主に係る四半期包括利益	0	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	外航海運事業	内航海運事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	97,444	18,130	115,573	251	115,824	—	115,824
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	7	7	243	250	△250	—
計	97,444	18,137	115,581	494	116,074	△250	115,824
セグメント利益 又は損失(△)	5,684	1,559	7,243	△21	7,222	7	7,229

(注) 1. 「その他」の区分には、陸運業及び情報サービス業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額7百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	外航海運事業	内航海運事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	91,919	18,059	109,978	—	109,978	—	109,978
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	7	7	276	283	△283	—
計	91,919	18,066	109,985	276	110,261	△283	109,978
セグメント利益 又は損失(△)	5,029	795	5,824	△1	5,824	1	5,825

(注) 1. 「その他」の区分には、情報サービス業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額1百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。